



本年の圃場準備期間については雨の日が多く、圃場準備が進まず大変苦労された年ではなかったでしょうか。4月下旬より天候は一転し、平年よりも気温が高く、日照時間も多くなり、田植え作業は順調に行われました。その為、苗の活着も良く生育も順調となっております。

本年の田植えは昨年同様、5月の連休から中旬まで長期間に及び、水稻の生育状況に大きな差がみられます。栽培管理は生育の早晩に応じて行いましょう。

一、追肥

追肥は生育中期の稲の栄養状態をよくし、籾数の確保、有効茎歩合の調整を図るための施肥です。早生品種について5月25日以降の遅植をしたものについては、基肥施用からの期間が短いため追肥は省略します。また、気温が高くなり、秋にすぎ込んだ稲わら等の有機物の分解がすすむ時期となりますので、過剰分げつにならないように、追肥の施用にあたっては、水稻の栄養状態をよくみて施用して下さい。

二、水管理・中干し

この時期の水管理は、間断かん水を行い、根を健全に発育させるよう

にしてください。
目標茎数（株当り15〜18本）が確保できれば中干し作業に入ります。中干しは無効分げつの抑制、下位節間の伸長を抑制して倒伏を軽減するなどの効果があります。



中干しは分げつが株当たり15〜18本に達する時期が目安です。

中干し後は、間断かんがいを2〜3回繰り返す、もとの湛水状態に戻します。間断かんがいは、湛水と落水を数日ごとに繰り返す方法です。具体的には浅水程度に水を入れ、水が無くなってもすぐに水を入れず、1〜2日待つて再び浅水程度に水を入れます

表1 追肥施用のめやす (PKセーブ 単位 kg/10a)

品 種	移植時期	追肥	追肥施用時期
コシヒカリ	5月上中旬	1.5	6/5〜10
キヌヒカリ	5月上中旬	1.0	6/5〜10
日本晴	5/5	2.0	6/20〜25
秋の詩	5/5	1.0	6/20〜25
滋賀羽二重糯	5/5	1.0	6/20〜25

※水稻の栄養状態を確認して施用の判断をして下さい。また、基肥一回タイプの肥料「楽しよう君」を使用した場合、追肥は必要ありません。

滋賀県農地中間管理機構 からのお知らせ

集落・地域の話し合いを通じて農地中間管理機構を活用しませんか？

●リタイアするので農地を貸したい

機構に農地の貸付申出をしてください。お借りした農地は機構が借受希望者に転貸します。※機構は農地として著しく困難であるものは借受できません。

●新規就農するので農地を借りたい

機構から農地を借受けることができます。

平成27年度借受希望者の募集・貸付希望申込書の提出期限は **平成27年6月1日～7月31日まで**です

※お問い合わせ先

滋賀県農地中間管理機構 (TEL077-523-4123) もしくは栗東市役所農林課・JA栗東市営農課・大津南部農業農村振興事務所農産普及課へお問い合わせください。

野菜等の栽培に JA 栗東市園芸用レンタルハウス事業希望者受付中

JA 栗東市の組合員を対象に、施設園芸農家の育成と野菜、果樹等の生産振興を目的にビニールハウスの導入整備を図る事業です。

- 対象物 ビニールハウス ●リース期間 5年
- 要件 JA 栗東市の組合員で、利用作物は野菜・果樹・花卉等とし、水稻育苗には使用できません。また、出荷販売についてはJAを通じて行い、JAもしくは市関連施設への出荷が原則となります。
- 申し込み JA 栗東市営農課にて所定の申請書により申し込み下さい。締切は6月末日です。
- 事業内容 申請者の中から栗東市の予算範囲内で、新規事業者を優先とし運営委員会（JA 営農課、栗東市農林課、大津南部農業・農村振興事務所農産普及課）により事業対象者が選定され、JA 選定業者により面積や仕様により見積もり後、ハウスの設置を行い、JAと5年間のリース契約でハウスを利用します。栗東市より補助もあります。（基本設計ハウス部品代の25%以内）
- お問い合わせ JA 栗東市営農課まで(TEL552-0575)

野菜づくり

今月は
春・夏野菜の
水管理



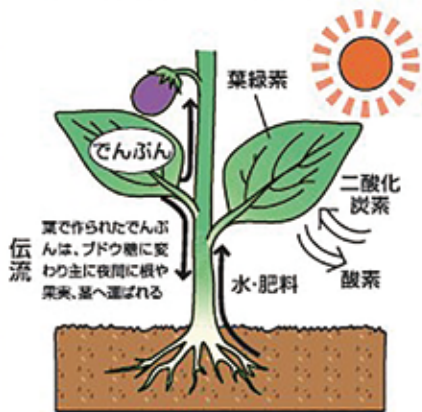
春から夏にかけて野菜の育ちは大変早く、日々その姿を変えてきます。その育ち方を知り、適切な管理をすることが、良質野菜、多収の基本です。

管理の狙いは、(1)健全な葉を必要な枚数付けさせ、(2)各葉によく光を当て、(3)根からの養水分を適量与え、光合成を盛んに行わせることです。ちなみに長期に収穫し続ける果菜類では、果実1個当たり、ナス、ピーマンは7〜8枚、キュウリは3

枚、カボチャでは15枚、スイカでは40〜50枚の健全な葉数が必要です。株間を広めに取り、整枝を適正に行うこと、果実が多過ぎれば摘果して制限し、あるいは小さい

光合成を盛んにする

光合成 日光エネルギーを受け、葉緑素の働きによって水・肥料栄養と二酸化炭素を結び付け、葉内にでんぷんを合成する



天候に応じて水分を与える



1日当たりの吸水量(1株当たり)

	曇天時	晴天時
キュウリ	500~600cc	2000~3000cc
トマト	300~500cc	1500~2500cc
レタス	30~40cc	100~200cc

ちに収穫し、1果当たりの葉数を確保することが重要になるわけです。

次に、各葉に光をよく当てるために、余分に伸びてきた脇芽や、重なり合ってお互いに陰をつくってしまつ葉は摘み取ることです。トマトの脇芽は2〜3日見ないと残すべき主枝と見まちがえるほど大きく伸びてしまいます。キュウリの子づる、孫づるは、一日で3〜4cmも伸びるのです。育ち盛りにには1〜2日置きには必ず、見過ごさずに摘み取ってください。病害虫で葉が傷められないようにするのは当然ですが、機能が発揮できなくなつた葉は早めに摘除して健全な葉や果実によく光を当てるよう心掛けることも大切です。

盛夏の太陽光は強過ぎ、生育の妨げとなる場合がしばしばあります。強光は高温を伴うので、特に低温性のホウレンソウやチンゲンサイ、シユンギクなど、あるいは秋野菜作りのためのキャベツ、ハクサイなど、幼苗期にはべた掛け資材のトンネルで遮光するのが有効です。害虫回避の効果も発揮できるので、一挙両得のおすすぬ技術といえましょう。

JA栗東市組合員様 特別給油割引券

(1〜5円/ℓ値引き ※割引額は変動します。)

給油の際に右のバーコードをかざして下さい。

※補助給油をご利用のお客様はご使用できません。

※本券は、ガソリン・軽油のみ対象となります。 ※他の割引券との併用はできません。

有効期間 平成27年9月30日まで(期間中は何度でもお使いいただけます)

(株)JA栗東市 石油事業所(JASS-PORT栗東 ☎077-552-7534)

2101870 100017

